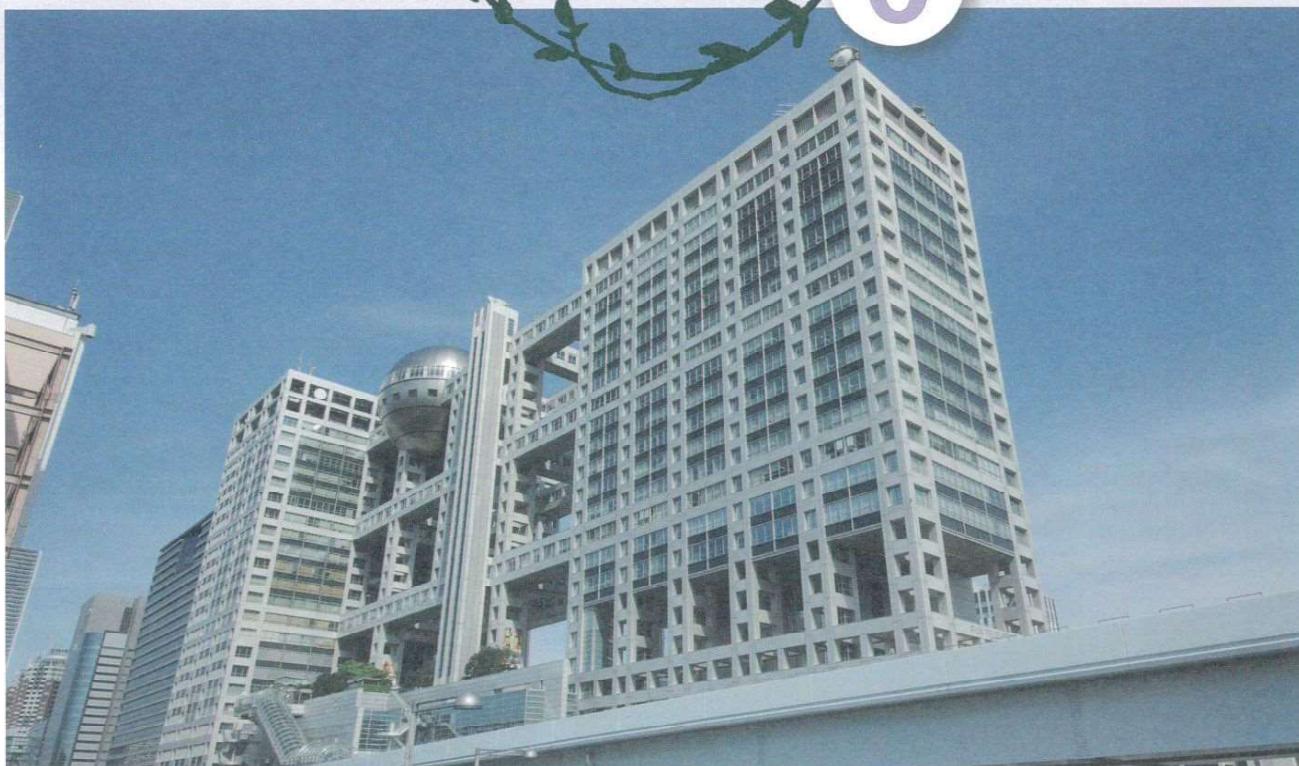


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印 刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



フジテレビ 本社ビル(港区)

西徳寺の予定

6月

- 1日(木) 午前10時半 城東ブロック会散策(柴又方面)
10日(土) 午後5時半 同行会『勧衆偈』に聞く
法話:仲井 真裕
11日(日) 午後2時 城北ブロック会総会・聞法会
場所:くいもの屋わん池袋西口公園前店
14日(水) 午後1時半 婦人会聞法会
14日(水) 午後7時 燐虹塾セミナー
17日(土) 午後2時 定例聞法会
25日(日) 午後2時半 城東ブロック会総会・聞法会
場所:人形町 香港美食園
30日(金)午後2時 評議員会定例役員会

7月

- 1日(土) 午後5時半 同行会『觀衆偈』に聞く 法話:山崎住職
13日(木)~16日(日) 孟蘭盆会
(10日よりお盆体制となり、新盆を中心にお参りに伺います。)
19日(水) 午後6時 千束幼稚園花火
22日(土) 午後2時 定例聞法会
23日(日) 午後2時半 中央ブロック会聞法会 場所:西徳寺
26日(水) 午後1時半 婦人会聞法会

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。

住職のひとこと

足もと

禪宗の教えに「看脚下」(脚下を看よ)という教えがある。
困難な時は



ど原点に立ち帰り足もとを見つめ直すことが大切。今ここに立っている私は何に支えられているのだろうか?無い物ねだりの私は無意識にそれを踏みにじる。

足もとは「元」「下」の他に「許」という字がある。様々な許しの中にある私が、今、ここにいる。

えこおファイル在庫あります。

6月の山門の言葉

救いの道は、聞く一点

親鸞聖人御誕生八五〇年「慶讃法会」にご縁をいただき、改めて聖人のお言葉「超世希有の正法、聞思して遅慮することなけれ」の強烈な仰せに促されて歩んでおります。

思えば昭和四十八年、西徳寺では婦人会・定期聞法会・青年会・出かけて行く聞法会等を発足しました。それから五〇年の間、「超世希有の正法」と示された南無阿弥陀仏の救いを訪ねて参りましたが、今改めて、どのようにして救われていくのかという大きな問いを投げかけられております。

「いのち」は生まれることも死ぬことも、人間の力が一切及ばない世界であります。二〇年間、比叡山での血みどろな自力修行の末、法然上人の元へ走られた親鸞聖人は、「いのち」とは如来より頂いたいのち、私となつてているいのち、私の通りにならないいのちであり、それを「私」していることこそが、重大な課題とおさえられました。「私」とは自我一杯の存在であるが故に、生老病死に迷い、罪惡深重であり、火宅無常であります。この事実に目覚めさせるのが南無阿弥陀仏の教えであり、聞いていく以外には開かれないと仰せであります。

頂いたいのちでありながら、それを自分の思い通りにしようとしていた自我の世界に目覚めることが解放の世界をひらく救いなのではないでしょうか。

(大谷 義博 記)

ランドマーク フジテレビ本社ビル(港区)

1997年(平成9年)4月に開館した、お台場のランドマークであるフジテレビ本社ビル。正式名称はFCGビル(Fujisankei Communications Group)です。

フジテレビの事業拡大に伴い、新宿区河田町にあった旧本社ビルが手狭になったことから、お台場へ移転しました。地上25階、地下2階建てのこの社屋は、日本を代表する建築家・丹下健三が手掛けた巨大プロジェクトの中で最後に直接指揮をとった建築物で、格子状の構造体が特徴的で、中央部の空洞からは背景の空が見える、景観と一体となった建築になっています。また建物は縦横の比率を、ハイビジョンテレビの画面の縦横の比率と同じ16:9となっています。

直径32m、重量1200トンにも及ぶ、シンボルである大きな球体展望台は、700円で入ることができます。



シンボルの球体



球体展望室から見える景色

うばだいしゃ～共悩共歩～

テーマ「時代」

優婆提舎(うばだいしゃ)論議の意。
経説等について仏や仏弟子が論議して意味を明らかにしたもの。
(例:淨土論=無量寿經優婆提舎願生偈)

今回は、本業の塗装業を引退したのち手打ち蕎麦を始めた大久保吉明さんにお話を伺いました。大久保さんのお蕎麦をいただきましたがとても美味しく、友人知人の方々からも大好評だそうです。大久保さんは手打ち蕎麦にとどまらずどんなことにも熱心に取り組まれ、西徳寺主催「写経の会」にもご参加されています。

◇体全体を使って作り出す喜び

蕎麦打ちを始めたきっかけは、健康の為何かをしたいと思っていたとき、友達の勧めで軽い気持ちでサークルに参加了のがきっかけです。その時の参加者の皆さんのが楽しそうな姿がとても印象に残りました。

しかし、蕎麦打ちって本当に奥が深いんです。とにかく一番始めの「水回し」(最初の工程。そば粉に加水し手で攪拌すること)で粉にまんべんなく水をいきわたせる作業のこと)」がもう出来ない。出来ないけれども、少しでも出来たときの喜びは格別で、もうそれに魅了されて夢中で取り組む日が始まりました。

◇先生との出会い

そんな中、とある道場にすごい先生がいると聞いて、そこに入り直して勉強しました。蕎麦打ちには「そば道段位認定制度」という制度があるんですけど、その試験に向けて、もうずっと勉強して。初段、二段は取れました。でも三段位は本当に難しくて、習い始めてから七年、ずっと勉強勉強の日々だったのに落ちてしまつて。

そしたら先生から「もうここまでやつたんだから大丈夫だろう、と思つたんじやないか?だから落ちたんだ」と叱られました。そして「無心になれ」とも教えられて。実は先生も私も同じ境遇だからその言葉は響きましたね。

◇失敗の先に

また勉強の日々を重ねて、再度試験に臨みました。しかし、試験開始にいきなり失敗したんです。でも「もういい、俺は今までやつて来たんだ、やつて駄目ならしようがない」って夢中で打つて。後日届いた通知書は、どうせ落ちたと思い放つておいていたんですが、妻に言われて開けたら合格していました。でも合格よりも大切なものを学べたと思います。

◇かけ橋となりたい

三段位は人に教えることが出来るのですが、とはいっても一つ一つ、基礎の再確認をしなければならないので、また勉強の日々です。お坊さんなら分かってくれると思いますが、ただお経を読むだけじゃないでしょ。亡くなつた人の気持ちとかいろいろ考えて。蕎麦打ちも一緒に、ただ技術が良いだけじゃ駄目なんです。そうした想いを次世代の方に伝えられる、かけ橋になりたいですね。

(聞き手 高橋淳)



大久保吉明さん



蕎麦打ちで最も基本の「水回し」

西徳寺本堂の歩みと現状

今年9月1日は関東大震災から100年となります。西徳寺も本堂倒壊という甚大な被害を受けました。また西徳寺の8割のご門徒が被害に遭われました。

その惨憺たる状況の中、わずか7年後に現本堂を再建させます。「倒れない・燃えない本堂」という願いから、当時としては珍しい鉄筋コンクリート構造がありました。

佛光寺28代澁谷隆教ご門主は、ご門徒自身の生活がままならない中で、当本堂を完成させた信念に敬意を示され、感激されました。

並々成らない心血を注がれた西徳寺本堂も今年の10月5日で93歳を迎えます。当然ながら雨漏り、ひび割れなど様々なところに不具合が出ております。その点も皆様にお知らせしたいと思っておりますので、数回にわたり「西徳寺本堂」を取り上げてゆきたいと思います。



第5回TOKYO散歩会 ◇目的地 目白田中屋(豊島区)

大型連休の合間、5月1日(月)にTOKYO散歩会を開催いたしました。

今回は山崎住職の長男が初めて参加し、浅草駅に集合。まず朝食のハンバーガーを食べ、その後は湯島天神を通り、後楽園方面へ。休憩できる喫茶店を求め、彷徨いながら辿り着いたのは、カテドラル聖マリア大聖堂。荘厳で圧倒される空間を味わい一路、目白方面へ。

その後目的地である、当散歩会の発起人、並木さん念願の目白田中屋さん(酒屋)に到着。店内は撮影禁止の為、写真はありませんが、ウイスキーを中心に見たことがないお酒の数々に胸が躍り、帰りの電車は重いお土産(お酒)を抱えて帰路に就きました。

普段は車で素通りする道を、ゆっくりと歩く散歩会。いろいろな発見や楽しみがあります。
参加希望の方は、お寺までお問合せください。

(仲井 真裕 記)



浅草駅を出発



後楽園付近

評議員会総会

4月23日(日)、西徳寺本堂にて「令和5年度評議員会総会」を開催いたしました。

川村責任役員総代様、竹内会長、山崎住職、大谷顧問よりご挨拶いただいた後、昨年度の報告と新年度の事業計画案、予算案等をご審議いただき、ご承認いただいたことをご報告申し上げます。

今年度は、行事に対する規制も徐々に解除されるかと思いますので、会員の皆様には何かとご負担をお掛けいたしますが、各法要、聞法会、各種行事へのご協力をよろしくお願ひいたします。

(大橋 伊知郎 記)



川村責任役員総代



竹内会長

中央ブロック会

4月30日(日)、西徳寺にて中央ブロック会総会・聞法会を開催しました。聞法会は全く違う環境、境遇で生きている我々が、実は共通の問題を抱えている。いのちとは何か、生きる意義とは何かという問題に共に向き合い、共に考える。その場が聞法会であると教えていただきました。質疑の時には、なかなか納得できない、わからないと率直な言葉が出てとても有意義な時間となりました。



次回は7月23日(日)開催予定です。多くの参加をお待ちしております。

(担当:蓮井 邦宗)

城南ブロック会報告

5月14日、品川区の大井町きゅりあんにて城南ブロック会を開催。コロナ以降、初の、西徳寺を出ての聞法会に18名の方々がご参加下さいました。

初めての方も3名お越し頂き、新鮮な気持ちの中、「聞く」ということが大切であることを改めて感じました。

懇親会ではそれぞれに「西徳寺との馴れそめ」を語って頂き、大いに盛り上りました。

次回は10月22日 三茶しゃれなあと を予定しております。皆様、是非お越しください。

(山崎 哲 記)



「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。



坊さんのツブヤイッター

@イッチー



先日千葉県のマザー牧場に出かけた際、通路の真ん中辺りにPUMA(子供が使いそう)の財布が落ちていた。気づいたのは私と一人の女性。私は咄嗟に辺りを見回して小学生のグループを発見。一か八か財布を持って追いかけ声をかけると、「あ! 僕のです! ありがとうございます!」と一件落着!



#落とし物 #一か八か #元気で素直な子供だった

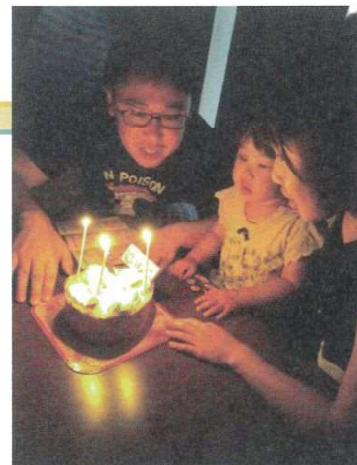
えこお志お礼

奈良県 善行寺 様



台東区 小林 浩子 様

ご淨財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせて頂きます。



5月、次女が3才になりました

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、
愚禿が心を顯す～

5月12日～14日、19日～21日、26日～28日と、本山佛光寺で慶讃法会が勤まりました。宗祖親鸞聖人御誕生850年法要・立教開宗800年法要・聖徳太子1400回忌法要・第33代真覚門主伝灯奉告法要の4つの法要を併せ勤めた今回の慶讃法会。

私は法要を勤める式務衆として、第1期の法要に出勤してきました。今回は特に、真覚門主の主伝灯奉告法要が勤まり、私たちの話も聞いてくださる、年の近い御門主と共に、伝統を重んじながら未来へ歩んでいきたいと思わされました。

西徳寺の団体参拝旅行については、次号にて報告いたします。

(編集長 仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com
💻 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook